

滝高フロンティアサイエンス通信

滝川高校 SSH 通信 (2018,6,15) SSH・理数科 第 4 号

外来種について学ぼう

6月16日(土)は、SSHの取り組みとして「オープンスクール」開催されます。そのときの特別講義としてくださる先生の紹介と講演の内容について紹介します。

講師 酪農学園大学 農食環境学群 環境共生学類
教授 吉田 剛司(よしだ つよし) 氏

吉田先生は、大阪府羽曳野市出身。University of Wisconsin-Stevens Point 卒業後 University of Illinois at Urbana-Champaign 修了。京都府立大学大学院農学研究科博士課程を修了、博士(農学)。日本学術振興会 特別研究員、財団法人自然環境研究センター研究を経て、2007年～酪農学園大学 環境システム学部生命環境学科准教授、2013年～酪農学園大学環境共生学類教授に就任。専門は野生動物保護管理学、森林管理学。エゾシカなどの大型哺乳類の保護管理、ザリガニからアライグマまで幅広い外来生物の対策、そして希少種の保全が主な研究テーマです。また、野生動物管理のための人材育成の取組と同時に、動物園や小学校などで行う環境教育やイベントを通して、一般の人々に野生動物の保全を広く呼びかける活動を行っておられます。

演題「北海道でこそその学問！野生動物管理学

—身近になって良いのか外来種？—

裏面は吉田先生がJRの機関誌(2017.11)にのせた外来種の記事です。
この記事を読んでから講演を聴くとより深まると思います。